Ⅴ. 各 県 別 概 要

◎青森県内の調査結果概要（岩木川水系、馬淵川水系、高瀬川水系）

○馬淵川、岩木川では、全地点で環境基準（ＢＯＤ）を満足
○高瀬川（ＣＯＤ）は、環境基準を満足した地点が大幅に増加
○岩木川で、環境ホルモン(ｴｽﾄﾛﾝ)が検出（Ｐ４参照）
○Ｈ１６に比べて水質事故が８割増加。岩木川では前年の２倍発生。

【環境基準の満足状況】（ＢＯＤ，ＣＯＤ７５%値）

	観測地点数	満足地点数	割合		環境基準超過地点
			Ｈ１７	Ｈ１６	
青森県全体	２７	１９	７０%	７０%	
岩木川	１６	１６	**１００%**	９４%	
馬淵川	３	３	**１００%**	１００%	
高瀬川（小川原湖）	８	４	**５０%**	１３%	小川原湖 No.A、No.B、高瀬橋、河口

【水質事故発生状況】
・青森県全体・・３０件（Ｈ１６：１７件）（東北全体の７%）
・岩木川・・・・１８件（Ｈ１６：　８件）
・馬淵川・・・　７件（Ｈ１６：　５件）
・高瀬川・・・・　５件（Ｈ１６：　４件）

◎岩手県の調査結果概要（北上川水系）

○河川は環境基準（ＢＯＤ）を満足しているが、一部の湖沼で環境基準（ＣＯＤ）を超過
○胆沢川と和賀川が“水質ランキング”の上位にランク。磐井川は水質が悪化し、“水質ランキング”の下位にランク（Ｐ１参照）。
○Ｈ１６に比べて水質事故が３割増加。
北上川水系和賀川では 8,000L の重油が流出し、取水停止！（Ｐ５参照）

【環境基準の満足状況】（ＢＯＤ，ＣＯＤ７５%値）

	観測地点数	満足地点数	割合		環境基準超過地点
			Ｈ１７	Ｈ１６	
北上川(岩手県内)	３０	２９	９７%	９４%	**石淵ダム**

【水質事故発生状況】
・７２件（Ｈ１６：５７件）（東北全体の１７%）

◎宮城県内の調査結果概要（北上川水系、阿武隈川水系、名取川水系、鳴瀬川水系）

○河川は環境基準（ＢＯＤ）を満足しているが、一部の湖沼で環境基準（ＣＯＤ）を超過
○北上川水系大深沢で、砒素が環境基準を超過（Ｐ３参照）
○北上川、阿武隈川、名取川で、環境ﾎﾙﾓﾝ(ｴｽﾄﾛﾝ)が検出（Ｐ４参照）
○水質事故は、北上川・鳴瀬川（県北部）で増加、阿武隈川・名取川（県南部）で減少

【環境基準の満足状況】（ＢＯＤ，ＣＯＤ７５％値）

	観測地点数	満足地点数	割合		環境基準超過地点
			Ｈ１７	Ｈ１６	
宮城県全体	３２	３０	９４％	９４％	
北上川	１０	９	９０％	９０％	**鳴子ダム**
阿武隈川	６	６	１００％	１００％	
名取川	９	８	８９％	８９％	**釜房ダム**
鳴瀬川	７	７	１００％	１００％	

【水質事故発生状況】
・宮城県全体・・５２件（Ｈ１６：４７件）（東北全体の１２％）
・北上川・・・・２６件（Ｈ１６：２０件）
・阿武隈川・・・　６件（Ｈ１６：１１件）
・名取川・・・・　４件（Ｈ１６：　６件）
・鳴瀬川・・・・１６件（Ｈ１６：１０件）

◎秋田県内の調査結果概要（雄物川水系、米代川水系、子吉川水系）

○県内各河川の水質（ＢＯＤ）は、全地点で環境基準を満足
○雄物川水系玉川で、鉛が環境基準を超過（Ｐ３参照）
○玉川が“水質ランキング”の上位にランク（Ｐ１参照）
○Ｈ１６に比べて水質事故が２割増加。特に、雄物川では８割増加。

【環境基準の満足状況】（ＢＯＤ７５％値）

	観測地点数	満足地点数	割合		環境基準超過地点
			Ｈ１７	Ｈ１６	
秋田県全体	２６	２６	１００％	１００％	
雄物川	１５	１５	**１００％**	１００％	
米代川	７	７	**１００％**	１００％	
子吉川	４	４	**１００％**	１００％	

【水質事故発生状況】
・秋田県全体・・６４件（Ｈ１６：５２件）（東北全体の１５％）
・雄物川・・・・３７件（Ｈ１６：２１件）
・米代川・・・・２３件（Ｈ１６：２９件）
・子吉川・・・・　４件（Ｈ１６：　２件）

◎山形県内の調査結果概要（最上川水系、赤川水系）

○最上川では２地点が環境基準（ＢＯＤ）を超過。
**　赤川では全地点で環境基準（ＢＯＤ）を満足。**
○最上川水系須川が、前年に引き続いて“水質ランキング”の最下位。
**　最上川水系鮭川と赤川本川が“水質ランキング”の上位にランク（Ｐ１参照）。**
○Ｈ１６に比べ、最上川の水質事故が６割増加。
**　東北地方で最多の１６２件（東北全体の水質事故の約４割）が発生。**

【環境基準の満足状況】（ＢＯＤ、ＣＯＤ７５％値）

	観測地点数	満足地点数	割合		環境基準超過地点
			Ｈ１７	Ｈ１６	
山形県全体	２３	２１	９１％	１００％	
最上川	１８	１６	**８９％**	１００％	**中村（寒河江川）、船戸橋（村山野川）**
赤川	５	５	**１００％**	１００％	

【水質事故発生状況】
・山形県全体・・１７３件（Ｈ１６：１０８件）（東北全体の４１％）
・最上川・・・・１６２件（Ｈ１６：１００件）（東北全体の３８％）
・赤　川・・・・　１１件（Ｈ１６：　　８件）

◎福島県内の調査結果概要（阿武隈川水系）

○全地点で環境基準（ＢＯＤ）を満足
○阿武隈川水系荒川が、昨年に引き続いて“水質ランキング”の１位。
**　阿武隈川本川は、やや水質が改善されたものの、“水質ランキング”の下位にランク（Ｐ１参照）。**
○Ｈ１６よりも水質事故が２割減少（県単位で比較すると、東北地方の中で、唯一、前年よりも水質事故が減少）

【環境基準の満足状況】（ＢＯＤ、ＣＯＤ７５％値）

	観測地点数	満足地点数	割合		環境基準超過地点
			Ｈ１７	Ｈ１６	
阿武隈川（福島県内）	１４	１４	**１００％**	１００％	

【水質事故発生状況】
・３３件（Ｈ１６：４３件）（東北全体の８％）